

○ 有害化学物質・微生物リスク管理総合対策事業委託費

【令和7年度予算概算決定額 195(165)百万円】

(令和6年度補正予算額 20百万円)

＜対策のポイント＞

消費者の健康に悪影響が生じるのを未然に防止するため、食品等の有害化学物質・微生物の汚染実態調査、事業者等と連携した低減対策等の策定・普及、普及した低減対策等の効果検証を推進します。

〈政策目標〉

農林水産省がリスク管理の優先度が高いとしている危害要因、品目の組合せごとに、リスク管理措置の効果検証のためのKPIを新たに設定し、その達成度を定期的に評価

＜事業の全体像＞

1. 有害化学物質リスク管理基礎調査事業

144百万円※

2. 微生物リスク管理基礎調査事業

71百万円

(1. 2. ともに以下の事業を実施)

- ① 食品を通じて人の健康に悪影響を及ぼす可能性のある有害化学物質・微生物について、**食品等の汚染実態を調査**します。
 - ② 人の健康への悪影響が懸念される有害化学物質・微生物について、**事業者等と連携して実施可能な汚染防止・低減対策の策定・普及**を行います。
 - ③ **策定した汚染防止・低減対策の効果検証**のため、食品等の汚染実態を調査します。
 - ④ 新たに対応が必要な有害化学物質・微生物について、分析機関の人材育成等の観点も踏まえ、**新たな分析法の導入や分析に必要な標準試薬の作製**を行います。
 - ⑤ **輸出重点品目や新たな食料源として国際規格の必要性が検討されている品目**を対象に、重点的な実態調査や衛生管理の有効性検証のための調査を行います。

(関連事業)

輸出環境整備推進事業のうち国際貿易の進展に伴う二枚貝の衛生管理方策の検証・普及推進 1,298百万円の内数

国際的な衛生管理基準に整合していくため、我が国のカキの衛生状態の調査を実施するとともに、我が国の実態に即した一枚目の衛生管理方策を検証・普及します。

＜事業の流れ＞

委託

四

民間団体等

